

第6回日本歯科麻酔学会認定歯科衛生士試験 最優秀賞受賞

外来（歯科衛生士） 本田彩



最優秀賞の賞状

令和4年3月に行われた第6回日本歯科麻酔学会認定歯科衛生士試験を受験し、認定資格を取得すると同時に、最優秀賞を受賞いたしました。日本歯科麻酔学会認定歯科衛生士制度は、地域社会の歯科医療における安全性の向上を目指し、全身管理に関連する領域でチーム医療に参加できる知識と技能を有する歯科衛生士を育成する事を目的としています。

当センター歯科では、病棟と外来通院の利用者さんに対し歯科診療を行っています。障害や基礎疾患を有する方々を対象としているため、一般的な歯科治療とは異なる対応を求められることが多くあります。例えば、診療室に入室できない方には、絵カードなどを用いてシミュレーションを重ね、不安や恐怖心の軽減に努めます。また不随意運動があり治療中に体が動いてしまう方には、タオルやネットで体動抑制を行うなどで治療に繋げる事もあります。

全身麻酔や静脈内鎮静法などの薬理的アプローチが選択される場合も多く、その症例数は年間150件余にわたります。麻酔に関わる場合には、歯科麻酔専門医を中心に、歯科医師、外来看護師、歯科衛生士がチームとなって歯科治療を行っています。その中で歯科衛生士は、生体情報モニタを意識しながら治療の介助や歯石除去などを行っています。歯科治療は口腔内での処置のため、呼吸状態の確認も重要です。特に気管挿管されていない場合は、気道確保や注水時の吸引などをチームと共に注意して行っています。

障害のある方々に対して、このような対応ができる施設は限られており、当センター歯科への期待はますます高まっていると感じています。

私は今後も認定歯科衛生士としてチームを支援し、利用者の皆様に安全で快適な歯科治療を提供していきたいと考えています。

チームで歯科診療を行っています



〒183-8553
東京都府中市武蔵台2-9-2
東京都立府中療育センター
電話 042(323)5115
FAX 042(322)6207

--*ホームページもご覧ください*-*-*

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>

ひだまり

都立府中療育センター新聞 第540号 発行日 令和4年12月31日

クリスマス特集

12月15日に「森の音楽家たち（アンサンブル・バウム）」の弦楽器四重奏のコンサートを開催しました。森の音楽家たちのコンサートは、コロナ禍で何度か中止となり2019年以来のコンサートとなりました！始まりは、転棟してきた利用者紹介と看護師長のあいさつからです。そして12月の誕生者のお祝いを生演奏で

3C病棟 山田志津子



「ハッピーバースデー」と担当看護師からのお祝いメッセージ紹介となり賑やかな雰囲気スタートしました。モーツァルトの曲や季節の曲を演奏していただき、利用者は久しぶりの弦楽器の音色を楽しみました。その後クリスマスソングでは鈴やマラカスなどで利用者も一緒にリズムを取って楽しみました。そして離床できなかった利用者も個室まで音色が届きクリスマスの雰囲気を味わうことが出来ました。

2C病棟 島田久雄

12月21日、2C病棟で「クリスマス会」を実施しました。



感染対策としてソーシャルディスタンスをとりながら実施しました。今回も職員が楽器演奏しましたが、歌を歌わないで楽器演奏だけにしたので利用者の方のすぐそばで演奏することができました。2年位前から毎年クリスマス会は職員の楽器演奏会で楽しんできましたが、歌を歌うと感染対策のために距離をとる形になり、2部制にせざるをえませんでした。そのため、曲数が多くても6曲くらいしかできませんでしたが、今回はアンコールも含めて10曲の音楽を楽しむことができました。利用者の方がよく知っているクリスマスの曲と冬の曲をギター2台で演奏し、利用者の方にも鈴やタンバリンなどで演奏に参加していただきました。まわりの職員も大いに盛り上げ、楽しい時間は過ぎるのも早く、あっという間の「クリスマス会」でしたが、利用者のたくさんの笑顔で、穏やかな楽しいクリスマスを過ごせたと思います。



クリスマス特集



12月21日三枝ゆにさんをお招きし、ピアノによるクリスマスコンサートを実施しました。久しぶりの招待観劇ということもあり、利用者の表情に期待感を感じました。演奏曲は、ディズニーの「星に願いを」「ホール・ニューワールド」から始まり、ジブリ音楽の「さんぽ」「となりのトトロ」「いつも何度でも」など普段から聞きなれた楽曲が多かったため、持っていた楽器を鳴らしながら、スタッフと一緒に楽しく参加していました。メインとなるクリスマスソングでは、「もろびとこぞりて」「きよしこのよる」などしっとりした曲や「赤鼻のトナカイ」「あわてんぼうのサンタクロース」など元気な曲で盛り上がっていました。最後は、サンタクロースも登場し、プレゼントを受けとった利用者はとてもうれしそうな表情を見せていました！

2D病棟 紺野あけみ



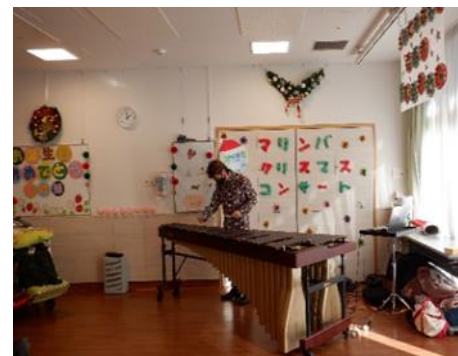
12月15日にギターとヴァイオリンのデュオ演奏者の方をお招きして、誕生会を兼ねたクリスマスコンサートを実施しました。クリスマスメドレーやクラシック音楽、病棟からのリクエスト曲（「情熱大陸」、アイドルの曲、みんなで歌える「しあわせなら手をたたこう」「にじ」）など、たくさんの曲を迫力ある生演奏で楽しむことができました。演奏中はリズムに合わせて楽器を鳴らしたり、手を叩いたり、歓声をあげたりと病棟全体で大いに盛り上がりました。ほかにも、職員と利用者で一緒に行うハンドベル演奏や医師2人による歌のプレゼントが披露されました。病棟内が素敵な歌声と美しいハーモニーに包まれ、利用者も職員も笑顔で聴き入っていました。

3D病棟 植田明香理



12月7日に宮野下シリウさんをお招きしてマリンバクリスマスコンサートを行いました。マリンバは長さが3メートル程もある大きな打楽器です。大きく迫力のある音ですがとても柔らかな音色のマリンバは、演奏が始まるとたんδειルームをコンサート会場に変えてしまいました。もちろんクリスマスメドレーも演奏してもらい、じっと視線を向け聴いている人が多く、音に呼応するように小さく腕を振っている人、視線が合うとこぼれるような笑顔を見せてくれる人も。生のマリンバの演奏に心地よい時間とパワーをもらい、各々楽しむことが出来ました。換気をしてマスク着用で感染対策を行い、久しぶりの生演奏を聴くことができました。最後は活動で作ったクリスマスカードをプレゼントし、和やかなクリスマス会になりました。

3B病棟 中島千絵



12月19日（月曜日）、さくら組・ゆり組合同で冬のお楽しみ会を行いました。この日のために、さくら組は『おむすびころりん』、ゆり組は童謡『まきばのがっしょうだん』をイメージした『みんなで歌おう！』という劇の練習を重ね、本番を迎えました。当日は、年長児5名によるオープニングから始まりました。さくら組はうさぎ・くま・ねずみ、ゆり組はあひる・こぶた・おうし・ひよこ・かたつむりと、それぞれ担当する役の衣装に身を包み、頑張った練習の成果をお父さん、お母さんに見てもらうことができました。

通園 横山愛深



職員の出し物では、職員サンタが鈴やタンバリン、マラカスを使って『あわてんぼうのサンタクロース』を披露しました。歌い終わると、帰ってってしまう職員サンタたち。サンタさん、プレゼント忘れちゃったのかなあとっていると…トナカイさんとスペシャルサンタさんがプレゼントを持ってきてくれました！どの子ども泣かずに、1人ひとりサンタさんからプレゼントを受け取って、みんな嬉しそうな笑顔を見せていました。

12月14日、2A病棟では「キティちゃんとクリスマス会」と称してクリスマス・コンサートを開きました。キティちゃんは利用者さんが目やひげを貼って作成しました。クリスマス会ではセンターの利用者さんにはすっかりおなじみとなりました宮野下子竜さんをお招きしてマリンバの演奏を披露していただきました。今回は冒頭からシンセサイザーのような電子楽器を効果的に駆使し、迫力ある「パッヘルベルのカノン」「クリスマスメドレー」などの演奏でした。利用者さんも職員と手を取り合って笑顔を見せる方や閉じていた目をしっかり開ける方がおられ、マリンバの音の世界に引き込まれました。途中で楽しいトークの時間もあり、マリンバの楽器紹介ではテレビ番組「今日の料理」のテーマ曲やiPhoneの通知音の生演奏がありました。マリンバを知らない方でもここに使われている身近な楽器だということを理解できる内容でした。

2A病棟 大塚好雄



その後も演奏は続き、鼓動のように直接身体に響いてくる音を聴いて、足でフットレストを楽しそうに踏む方や、手拍子を始める方がいました。最後は「情熱大陸」、そしてアンコール・サービスは「パプリカ」で締めくくられました。

ソーシャル・ディスタンスを取りながらも一年の最後に皆で集まり音楽会を楽しむことができたのは喜ばしいことでした。演奏会の実施に向けご協力いただいた病棟内外の職員の皆様には心より御礼申し上げます。